

会 議 録

- 1 会議の名称 令和5年度第3回社会教育委員会議
- 2 開催日時 令和6年3月26日（火）午後7時～8時00分
- 3 開催場所 熊取交流センター（すまいるズ 煉瓦館） コットンホール
- 4 議 題 案件1 令和6年度熊取町社会教育事業計画（案）について
案件2 熊取町総合体育館指定管理者の指定について
案件3 日本遺産（葛城修験）の追加申請について
案件4 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0人

7 審議等の概要

○案件1について

- ・事務局より令和6年度熊取町社会教育事業計画（案）について資料に基づき説明を行った。

【委員からの主な意見と質疑】

委員：公民館・文化ホールへの住民の期待も高い。住民に素直に受け入れられるか、気持ちよく利用していただけるかの意見聴取が必要。目安箱の設置などで住民からの意見をもらえるのでは？

⇒事務局：いろんな方から利用者の意見を伺えるようにしたい。

委員：文化ホールの公演の予算確保は？有料事業と公費で運営するものがあると思うが全体の文化事業総額、新規事業の総額は？

⇒事務局：文化事業の予算は50万円から1,650万円になった。以前は入場料が500円だったものを、公演に応じて入場料をいただくことにする。町の予算だけではなく、文化振興財団や宝くじ協会の補助金を活用した事業などを実施していく。

委員：アーティストバンクと吹奏楽団について補足を。

⇒事務局：アーティストバンクは、熊取町外の方からも登録があり、バイオリン、尺八、フ

ラダンスなど、現在 13 名の方の登録がある。吹奏楽団も、本町以外の方を含め中学生から 80 歳代までの方 38 名に登録いただいている。3 月竣工記念式典ではオープニングファンファーレを演奏。今後は年 1 回の定期演奏会開催を目指し活動していく。

委員：会議資料が以前に比べ見やすくなっている。生涯学習分野での連携で、図書館でも歴史文化の講演会を行い、男性も興味を持って多くの方が参加した。また講演内容が熊取への愛着を感じることができるものであった。過去の内容も YouTube で見ることで、若い人を取り込もうとしていて意欲を感じた。

委員：SNS での情報発信力を強めようとしているように感じる。

⇒事務局：図書館では親子の使用が特に減少。イベントを実施しているが広報紙では情報が届きにくいため、インスタグラムを 2 日に 1 回更新し、本の紹介、ソトミセ（図書館敷地での出店）の情報も発信。フォロワー数も増えている。

○案件 2 について

事務局より、熊取町総合体育館指定管理者の指定について資料に基づき説明を行った。

委員：指定管理者を募集して名乗りを上げた団体は？

⇒事務局：令和 6 年 3 月 31 日をもって指定管理期間が満了となるが、令和 7 年度から改修工事を予定しており、指定管理者選定委員会の選考結果を踏まえ、議会において、現在の指定管理者に 1 年に限り随意選定で可決した旨を報告。

○案件 3 について

・事務局より、日本遺産（葛城修験）の追加申請について資料に基づき説明を行った。

○案件 4 について

・事務局より、社会教育施設のネーミングライツ、愛称について説明を行った。

以上

8	会議の情報	名称	社会教育委員会議
		根拠法令等	社会教育委員会議運営規則
		設置期間	昭和 57 年 4 月 1 日～
		所轄事項	教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
		委員数	9 人
9	担当課	生涯学習推進課	